

# 消防団のみなさまに。

## 消防団団員間通信システムのご案内

このシステムは、業務用ブログ式のホームページとその中に格納された携帯電話メールー斉配信システムにより構成されています。

既に板橋第2分団で3年運用され、地域内の災害や火災情報などをいち早く住民に知らせ、出動命令や訓練情報などを、携帯電話とこの通信システムによるメールにて、極めて効率よく、短時間での通信環境を実現しています。

パソコンや携帯電話に不慣れな団員でも、メールを受けるだけなら、ご家族などの協力で簡単に覚えることができ、このシステムで送信したり情報を開示するのも、パソコンを触れる程度の団員に直接指導し、すぐに習得できることが実証されています。

システムの詳しい説明は【消防団プレゼン横組.pdf】にて解説しています。この資料はその補足として、板橋消防団の事例を参考に、導入までの流れを説明しています。

大規模災害、特に首都圏では直下型地震や荒川上流決壊などの大規模な災害リスクにさらされていて、共助として機能すべき消防団は、現在の連絡方法では、団員そのものの生存確認もままなりません。

大災害の際は、瞬時にサポート支援を行える体制も整えて、皆様の活動支援を行える最新のシステムを、ぜひご利用ください。

平成 21 年 5 月 20 日

内閣府認証 NPO 法人

日本テクニカルデザイナーズネットワーク協会

事務局 c-japan@jtdna.or.jp

<http://www.jtdna.or.jp>

## 消防団団員間通信システム

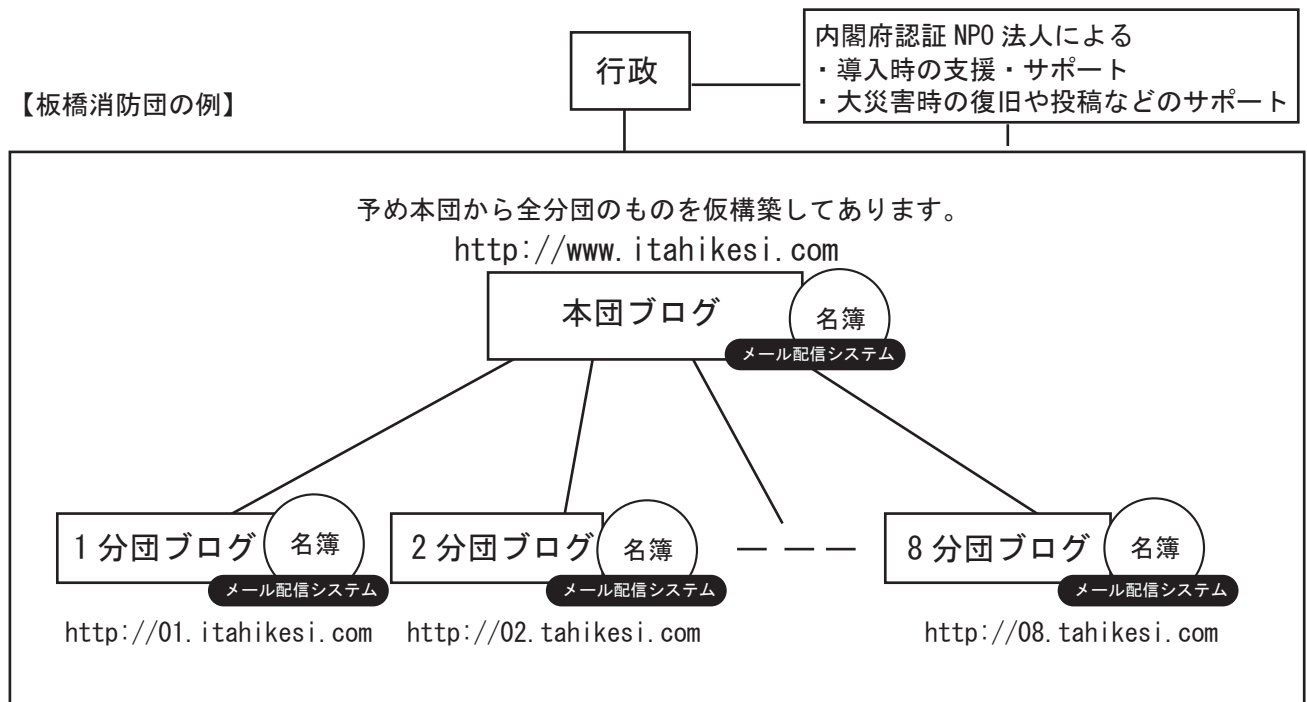
安全性について：

今までは各分団の有志の方がご自分の判断で無料のサーバーなどで、ホームページを作っていました。更新や管理はその方のパソコンでしかできず、他の方がサポートをできるものではありません。このため、公共性のあるものには適しません。

この業務用ブログをベースにした最新のホームページは、システムをNTTの最もセキュリティの整った国会議員党首なども使っているサーバー内に構築しています。

下記の方法でこのパソコンや携帯電話からも検索で探せ閲覧できます。予め管理する人にはIDとパスワードをお知らせし、スケジュールの書込み、投稿することができます。火災入電時や訓練、会議などの連絡は、このホームページに格納している団員の携帯情報（電話番号やメールアドレス）を使って、分団長等の指令を受けた特定の団員等が、瞬時に団員の携帯に指示を送信できます。個人に依存せず長期に安全運用できます。

インターネット上で、「板橋消防団」と検索すれば誰でも閲覧することができます。



1. 板橋消防団ではすでに本団が1年、第2分団が3年間運用しています。
2. 使用開始は、それぞれの分団の意思決定を所定の書式に記入頂けば数日以内にIDとPWを知らせし利用が可能になります。
3. 全分団のIDとPWはセキュリティ管理の整ったSNSに格納し、区議会議員を通じて、災害時などには行政と管理権を共有します。

## 消防団団員間通信システム

### 平常時：

今までは印刷物（コピー）などで定例会や行事連絡をおこなっていましたが、このブログにそのような一般に開示しても問題の無い情報はこのブログを掲示板として利用します。スケジュール表も利用し、サラリーマン団員などもいつでも情報を見る事ができます。もちろん、今までの方法も利用し、できるだけ紙を無くすことに移行してください。

### 火災報等入電時：

1. 分団長（副分団長）は予め訓練された通信担当団員に連絡後、通常の通り電話連絡等を行ってください。
2. 通信担当団員は、ブログに入電情報を投稿（誤報も）、同時にその内容をメール配信システムで一斉配信します。
3. 現着した団員（分団長など）は誤報や既に鎮火し、団員の出動を解除する場合も通信担当に連絡し、その旨、メールで一斉配信します。
4. 火災延焼などで団員の出動指令を分団長などの判断で通信担当に連絡、担当団員はその旨をメール一斉配信します。
5. 通信担当団員は、さらに詳しい内容（発生場所の地図や災害状況）をブログに投稿します。
6. 鎮火などで、出動を解除する場合も、分団長などは通信担当に連絡し、通信担当はブログに鎮火情報を入れてメールでも一斉配信で、鎮火情報を流します。

※メールの内容は外部からは見えません。送信履歴も残しません。又、メールは必要最低限の文字情報のみを送るので、いわゆるメーリングリストの様に迷惑メールのイメージがありません。

※現場の地図などはブログを携帯からでも見えます。ご自身の携帯電話のお気に入り設定をして、電話受信後、内容確認をメールとブログで行えます。

※出動できなかった団員も状況をいつも共有できるので、取り残される事はありません。

※携帯を使い慣れない方でも、メールを見るだけですから、すぐに慣れます。家族の応援でメールを閲覧できるようにしてください。

※パソコン閲覧が一番みやすいので、使えない方はご家族などに手伝っていただき、お気に入りなどの設定をしてください。

※パソコンや携帯電話の設定などについては各自が行ってください。

## 消防団団員間通信システム

大規模災害時：

直下型地震などの緊急の場合は通常の連絡網が全て使えなくなります。

特に指令を発する分団長も連絡を取れなくなることは容易に想像できます。行政の危機管理室も消防も警察も同様です。

団員も自助に追われ、生存確認もできません。

大規模災害発生時：

1. 大阪、仙台、新潟の、予めこのシステムを熟知し身元素性の明確なテクニカルデザイナー等により、即座に災害復興支援に入ります。
2. 団員の生存を確認するために、メール配信システムで一斉配信します。
3. 生存団員は空メールでもよいので返信をします。
4. 返信メールを確認し、システム内の名簿により携帯電話番号をたぐり電話をかけて状況を聞き取ります。
5. 対応しているボランティアは同時に被災地域の災害対策本部などに連絡をとり、予め登録している区議会議員などと連携し団員情報を行政に連絡します。
6. 危機管理室や消防などは、連絡のとれる団員を確認し、災害状況の情報収集を行います。
7. 通信担当は、避難場所や分団本部にて電源を確保し、通信環境を整え、被災地の情報をボランティアと連携し、ブログに積極的に掲載します。
8. 物資の確保や救助活動などの連絡も、電話網が使えない状態の場合でもインターネットでサポートし、効果的な救助活動を行います。
9. 避難場所の避難者の生存情報も顔写真等を掲載し、災害伝言板としての活用、マンションなどで被災を免れた方との連絡等をコメント等を利用し行います。
10. 避難場所の情報を発信する事で、地域住民も携帯などで避難先や物資の支給情報を得る事ができます。

※緊急時時においては通常の機能は全て失われます。このシステムにより全てではありませんが、即座にサポートに入る組織を伴って運用される事が、そのような事態に大きな復興支援を行えることになります。

※他には同様のシステムはありません。一刻の猶予もできない首都圏では、早急の運用開始を望みます。

## 費用、使用開始について

当協会の定款に示す通り、地域安全と IT 化推進支援事業として、当協会のプロジェクトとして、所定の期間の導入支援を協会会員の協力を得て行っています。

### 1. 導入費用

通常、このシステムの導入費用は導入時説明を含め 21 万円（税込み）が必要です。

ただし、当事者からの強い要望があれば、理事会を通し、所定の期間、導入費用を免除し、導入を希望した分団などについて、分団ごとに月額使用料（12,500 円）をお支払いいただきます。費用については、地域ごとに当協会の賛助会員企業にお支払いいただき、その企業により実務を実施します。所定の期間を過ぎた場合は、導入費用の免除は有りませんが、全分団の同時使用を希望されるのであれば、再度、理事会稟議にはかり、減額も考慮します。

インターネット上で、「板橋消防団」と検索すれば誰でも閲覧することができます。

消防団の多くの情報や災害情報なども、区民などがここで地域わけされた最新情報として閲覧できます。

### 2. 導入希望の場合の手順

- 1) 導入の希望については、各本団の団長の承認を必要とします。ただし、団長の昇任を得られない場合、その否定する内容に合理性の無い場合は、例外処置として個別分団の書面による導入希望を申し出てください。
- 2) 導入希望者は書式はありませんので、メールにて当協会事務局の下記メールアドレスに、消防団名、分団名、申し込み理由、必ず団長もしくは分団長が申込者となり、連絡先、氏名、及び担当団員の氏名と連絡先をメールアドレスを記載し、申し出てください。
- 3) 協会理事会にて審議し、初期費用の件、サポート可能な会員の確認などを行い、メールにてご返答いたします。

尚、導入指導は 1 回ですから、導入分団などには、PC の使える方（ネット環境が有り、文字入力や日常的にインターネットにて情報を得ることができる方）を必ず担当に指定してください。

### 3. 導入に要する期間

一分団にて導入も、協会としてはその所属消防団の全体を仮構築します。

これは、万一大災害の発生した際に、即効性を持って危機管理情報などの社会インフラとして使用を可能にするためです。導入期間は申し込み後、約 2 週間から 4 週間となります。仮構築後の導入は概ね 1 週間以内となります。

### 4. その他

災害発生時には管轄行政などに、当協会の所定の研修を受けた会員により広域サポートをおこないます。